

瑞宝中綬章

田淵 和彦さん(82)

同志社大名誉教授



1964年東京五輪でフェンシング男子フルレ団体4位入賞など輝かしい成績を残す。加えて、科学的観点から競技の研究を重ね、日本人選手が世界で躍進する現代の基礎を

日本選手躍進の基礎

築いた。

高校まで野球部だった。「チームゲームでは分からない、自分の能力の限界を知りたい」と同志社大で競技を始め、60年のローマ五輪に出場。その後、本場フランスに2年間留学して腕を磨き、東京五輪で活躍した。どうすれば強くなれるか。その探究心が研究の原動力だ。欧米と日本の選手の体格や練習法の違いを調べ、指導に生かした。大学の後輩、太田雄貴さんが五輪でメダルを取るなど成果は花開いた。来年の東京五輪は「メダルだけに目を向けず、子どもたちがスポーツが好きで頑張ろうと思える大会になれば」と願う。

(田中俊太郎)